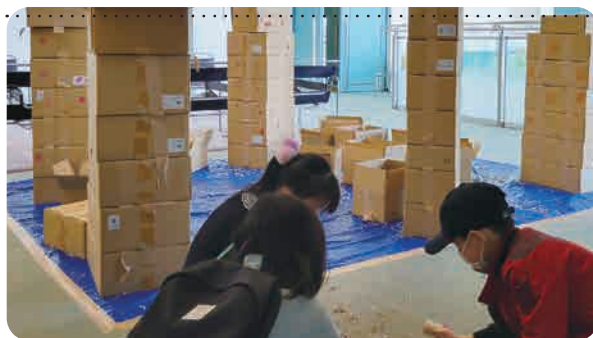


## R3年度協賛企業・協賛事例

### 興亜商事株式会社

協賛品：段ボール

お店や宣伝用の看板・人形の材料、お化け屋敷の壁や洞窟探検の洞窟等の材料



### 西川コミュニケーションズ株式会社

協賛品：マスキングテープ・シール

まちなのデコレーション材料、フォトブース企画用材料、お仕事証明、来場者への記念品



### 日進野菜研究会

協賛品：野菜(たまねぎ・じゃがいも・にんじん)

第2回実行委員会「ゲームでお金を稼いでカレーの材料を調達せよ!」のカレー材料



### 富士フィルム株式会社

協賛品：instaxチェキ(カメラ・フィルム)、名札ケース

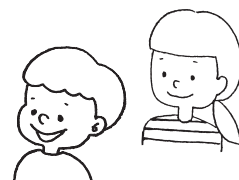
「マスクの下は笑顔です。」実行委員顔写真付き名札、フォトブース企画用材料



当日の会場エントランス



ご協賛いただいた企業様・団体様のロゴ・名称は、本番当日、子どもたち一人ひとりが持つ市民証約600部に掲載させていただきました。



主催・運営 / 日進市教育委員会  
運 営 / 日進アシスト株式会社

日進市 子どもだけのまち 検索

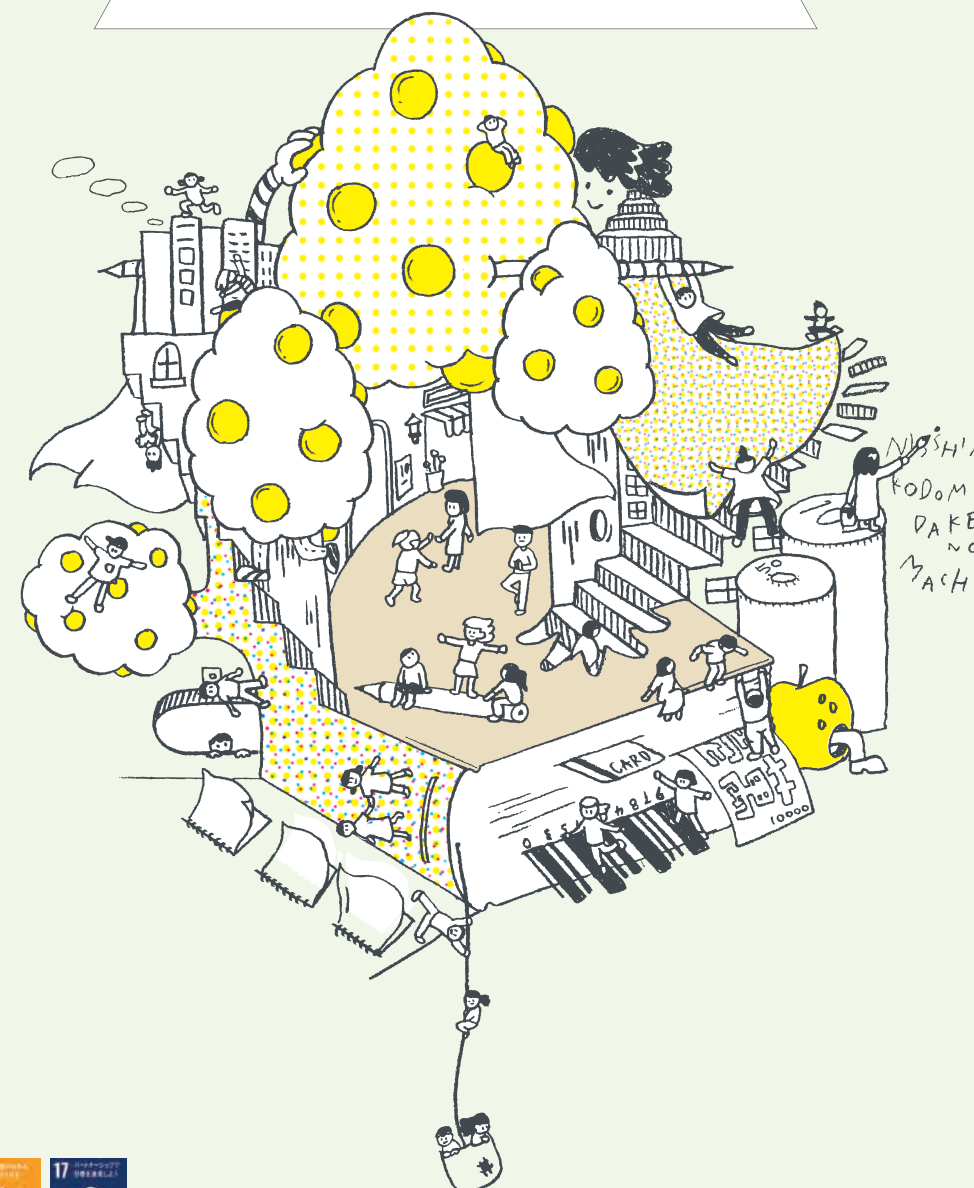


R3年度

大人は立入禁止!

# 子どもだけのまちをつくらう!

## 事業報告書



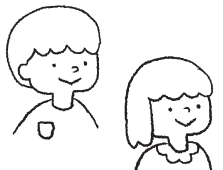
## 「日進市 子どもだけのまちをつくろう！」事業とは？

「子どもだけのまち」と聞いて、どんなことを想像するでしょうか。おもしろそう！楽しそう！子どもだけってちょっと危ないかも…でもちょっとワクワクしませんか？「子どもだけのまち」はその名の通り、子どもたちだけで創り上げるまちのことです。まちを構成する要素はさまざまです。商品やサービスを売っているお店、まちの安全を守る警察、給料をもらう銀行、そしてまちのルールもあり、毎年子ども実行委員が話し合いながら決めています。そんなまちを、

子どもたちは大人に頼ることなく、自ら考えて行動しながら創り上げていきます。何か困ったら、助けてくれるのは周りの子どもです。同じ市民である子ども同士が協力しながら、まちを運営していきます。大人の役割は、子どもたちがやりたいことを実現するための試行錯誤を見守ること。子どもだけの遊びの中に隠れる、子どもたちの豊かな発想力と行動力が集まってできるのが、「子どもだけのまち」なのです。

## 本事業で目指すこと

本事業は、自ら考え自ら行動する、そんな子どもの主体性を大切にしたプログラムです。普段の生活では出会えない、学校や学年を超えて集まった子どもたちのコミュニティの中で、互いに助け合いながらまちを創り上げていきます。子どもだけの非日常の空間の中で、大人に頼らず自分達の力でなんとかしようと工夫することで、主体性や課題解決力を身につけることを目指します。また、協賛企業をはじめ、子どもをサポートする多くの人々との関わりを通して、視野を広げ、地域社会との繋がりを深める機会となります。子どもだけでなく、学生サポーターにとっても、子どもの持つ力を知り、関わり方を模索することが、自身のキャリア形成に繋がることも期待できます。



日進市  
未来をつくる子ども条例  
.....  
の理念に基づいています。

この条例では、子どもの権利として次の権利が定められています。  
●愛される権利 ●守られる権利 ●自分らしく生きる権利  
●気持ちや考えを伝える権利 ●学ぶ権利 ●遊ぶ権利  
●心や体を休める権利 ●自然とふれ合う権利  
●参加する権利 ●ともに生きる権利

## ●子どもだけのまちに関わる人たち

### 当日参加者

本番にのみ参加する住人たち。特に小学校低学年が多く、あまり子どもだけのまちのことを知らない。まちの通貨を使ってお店で買い物をしたり、遊んだり、食べ物を買ったりしてまちで遊ぶことができるほか、お店で働いて通貨を稼ぐこともできる。  
(対象：小1～中3)



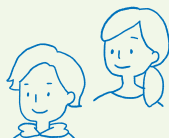
### 実行委員

本番の半年ほど前から、月に1回程度の実行委員会で、子どもだけのまちを創り上げる人たち。お店はもちろん、まちの仕組みも考えて当日参加者を迎える準備をする。当日は自分のお店や企画で働くだけでなく、当日参加者と同様にまちを楽しんだり、自分のお店以外でも働いて通貨を稼ぐことができる。  
(対象：小5～中3)



### 学生サポーター

子どもたちが安全に活動できるよう、「見守る」スタンスで子どもと関わる高校生、大学生のスタッフ。



主催

日進市 教育委員会

運営

日進アシスト株式会社  
日進市民会館指定管理者

ファシリテーター

にっしんeduca+ ※

※にっしんeduca+とは 「大人も子どもと共に育ち合えるまち」「誰もが居場所を持つまち」になることを目指し、子どもの主体性を育む事業及び青少年健全育成に関わる事業を企画・運営する組織です。

## ●年間スケジュール - 企画の流れ -

～7月

実行委員  
募集・決定

8月～

実行委員会の開催  
(月1回程度)

11月～

企画の内容が  
決まり始める

1月

企画の決定  
準備開始  
当日参加者  
募集開始

2月

当日に向けて  
準備

3月

本番

6月  
7月  
8月

実行委員募集開始。

実行委員のメンバーを抽選により決定。

第1回実行委員会(別会場で保護者説明会も同時開催)

アイスブレイクと「あなたがもし子どもだけのまちの市長になったら？」ワークショップ。

感染症拡大のためホームワークに切り替え。各自、まち・通貨の名前を考える。

落ち葉拾いで「お金」を獲得し、材料を入手してカレーを作ることで、「働く・お金を受け取る・使う」というサイクルを体験。

通貨とまちの名前を決定・自分自身がやりたいことを書き出すワークシートを配布。

通貨デザイン決定・やりたいことをみんなの前で宣言。

問屋がOPEN! 資本金をもとに開店準備へ。

プレ子どもだけのまちを実施。本番の流れやイメージをつかむ。

3月……

13日

18日

19日

20・21日

当日に向けて看板づくりなど、まちの最終準備・学生サポーター研修会。

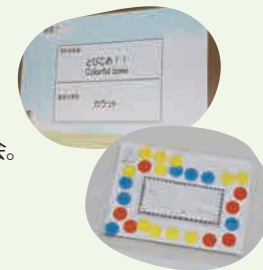
前日準備

実行委員限定子どもだけのまち

本番 8か月間の実行委員会を振り返る



R3年度 報告



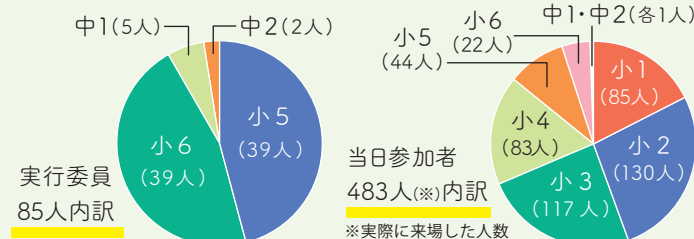
こちらから映像を  
ご覧いただけます  
外部リンク: CCNet Web TV



## 本番当日について

本番では、当日参加の子どもたちが、初日に243名、二日目に240名来場。実行委員からまちの説明を受けた後、まちの中にあるお店をまわって、商品を購入したり、ゲームやワークショップに参加したり、食事をしたり、店員として働いて稼いだりして、子どもだけのまちを楽しみました。実行委員は、まちで迷っている参加者を率先して案内したり、仲間と話し合っ店舗を改良したりと頼もしく成長した姿が見られました。また、当日参加者の中には、いつか実行委員になりたいという声もあり、本事業が子どもに与える影響や可能性を感じる本番となりました。

当日参加申込は、市内の対象者(小学1年生～中学3年生)9,356人の中から916人もの応募がありました。主な参加者である小学生に限れば7人に1人が申込んでいます。実行委員も定員以上の応募があり、市内でも注目度の高い事業である事がうかがえます。



### お店一覧

- モグモグ極
- The・カラフルイタリアン
- fruit cafe
- カラフルケーキの店
- 鈴カステラのベル
- タコ坊(タビオカ)
- おかしてアクセサリー
- The 焼きそば いいしょ〜
- 洞窟探検隊
- colorful お化け town
- ナゾトキゲームズ
- とーそーちゅー。
- かわいい!小物屋さん
- リプルA
- キャラ・雑貨ショップ
- ColorfulSHOP
- ねこ屋
- なまけもの極
- The ゲームセンター
- カラフル射的
- カジノ・ステージ
- カラット宝くじ&福ぶくろ
- 人生は長いぞ!人生ゲーム
- Colorful Photo
- 工作教室
- せんでんしますよ
- イラスト店タルト
- インフォメーション
- 銀行
- ハローワーク

## 参加者の声(事後アンケートの回答から抜粋)

### ■実行委員

Q.「子どもだけのまち」はあなたにとってどんな場ですか？

どれだけ大変でも楽しくなれる場所。失敗しても、「大丈夫かな？」とあまり思わせない場所。だから、何かを、いつもより積極的にできる場になった。

またやってみたい。やってみて思ったこと、感じたことをもう一度やってもっといい町にできるようにしたい。反省点がたくさんあったので、それをいかしたい。

みんなにとって、自分にとっても、楽しく自分らしく堂々といられる場所。

成長させてくれた場所。今までよりも、自分に満足できるようになった。

いろんな意見の人がいる場所。自分たちでいろんなことを決められる場所。

自分を受け入れてくれる人がたくさんいる。

### ■当日参加者

(保護者回答) Q.参加後の子どもの様子を教えてください。

一番伝えたいことは何か聞いたら「子どもだけで出来たんだよ、という事」との事です。子どもだけで色々な事が出来たという事が自信に繋がったようです。(小3)

自分で考えて行動したことが、とても楽しかったようでした。良いことも悪いことも、納得したようでした。社会に出る練習になったようです。(小6)

お友達と参加しましたが、来年は一人でも参加したいと言っていました。非常に楽しかったようです。(小2)

### ■実行委員の保護者

Q.実行委員を通してお子さんに変化や成長を感じたことはありますか？

臆することなく、チャレンジすることが多くなった

責任をもって最後までやりきる力がついた

自分で決断することが増えた

色々口を出してみたいのを我慢して、子どもを見守ってみました。解決する方法を自分で悩みながら見つけていく姿を見て、失敗するかも知れないとしても、見守るということはとても大切な事だと実感しました。

なんでも簡単に物も情報も手に入る時代に、自ら考えたり工夫したりする機会が失われていると思うので、とても素敵な企画だなと思います。